

火災警報器の取り扱いについて

●重要事項の説明

- この警報器は初期火災の煙を感知して警報する住宅用火災警報器です。消火装置や火災防止機器ではありません。
- 火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご承知ください。
- この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品ですが、消防法で定められた「自動火災報知設備」には該当しません。
- この警報器は、直接煙が入らない場合は作動しません。また次のような火災は感知しないことがあります。
 - ・火のまわりの早い火災
 - ・煙の発生しない火災
 - ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災やこれに伴う爆発的な火災
- 正常に動作させるため、1か月ごとの定期点検を必ず行ってください。定期点検の方法は6ページに記載しています。

●安全上のご注意

警告

- 分解禁止** ●警報器を分解・改造しない。また、落としたり衝撃を与えたりしない。
*故障の原因となります。
- 禁止** ●壁・はりの近くやタンスなどの真上や近くに警報器を取りつけない。
*火災警報を発生しない恐れがあります。
- 必ず守る** ●3日以上留守にされたときは必ず警報器を点検する。
*電池切れなどで火災警報を発生しない恐れがあります。

注意

- 他の部屋などで発生した煙では火災警報を発生しないことがあります。
- 殺虫スプレー、くん煙式殺虫剤、化粧品のスプレー、タバコの煙や調理の煙、油煙・蒸気などが警報器内部に入ると火災警報を作動させる場合があります。
- 火災警報中に警報停止ボタンを押すと約5分間感知機能が停止しますので、煙を感知しません。

器具を取り付ける前に

- 本、火災警報器つきシーリングライトは、寝室・居室(寝室として使用するところ、特にお年寄りや小さなお子様・ご病人がお休みになっている部屋)・居間・子供部屋などにお取り付けいただくことをおすすめします。

注意

■警報器の設置および維持基準については、政省令で定める基準に従い、市町村条例で定められています。市町村により設置場所が異なる場合がありますので、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

次のようなところは、故障や誤動作の原因になりますので取り付けしないでください。



禁止

- 暖房器具の近くなど、燃焼性粒子(すすなど)の発生する場所や水蒸気の発生する場所。
- 浴室や常時、温度や湿度が高い場所。
- 空気の流れが激しい場所。
・エアコン、換気扇、扇風機、など吹出口の近く。
・隙間風の強い場所。
- 寒暖の差が激しい場所。
- 車庫や排気ガスの発生する場所。
- ほこりや虫の多い場所。
- タンスなど家具の真上や近く。
- 火災でない煙や蒸気がかかる場所。
- 壁・はりの近く。

※冬季の朝方など冷え込んだ時は、電池電圧が低下して電池寿命警報が働く場合がありますが故障ではありません。

■取付場所について

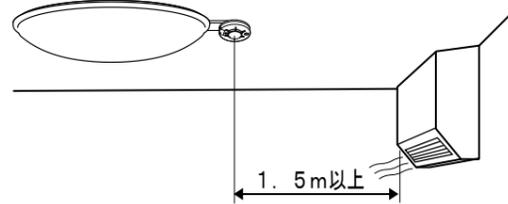
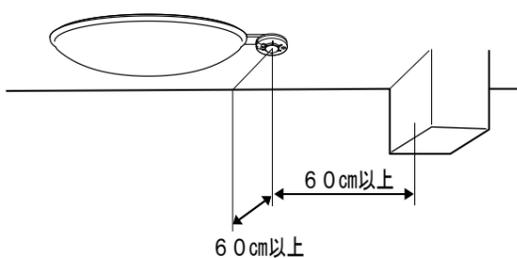


警告

人気の無い離れたところに器具を取り付けると、火災警報が聞こえない場合があります。

- 警報器は壁、たれ壁やはりから水平距離で60cm以上離してください。

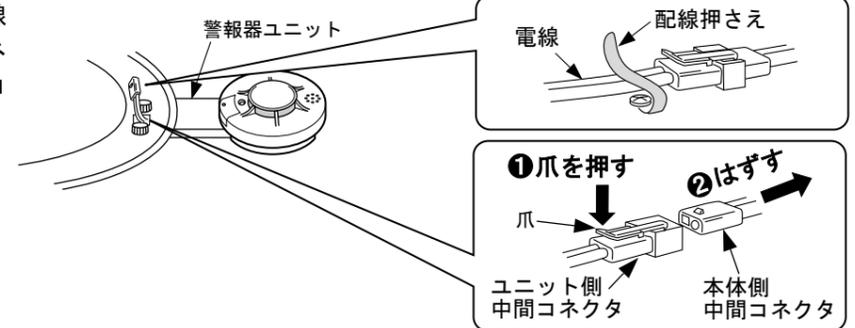
- 警報器は換気口などの空気吹出し口から、水平距離で1.5m以上離してください。



警報器ユニットのはずしかた

- 器具本体を天井から取りはずした後、警報器ユニットを取りはずしてください。

- ①配線押さえから中間コネクタの電線をはずした後、ユニット側中間コネクタの爪を押しながら本体側中間コネクタを引き抜いてください。

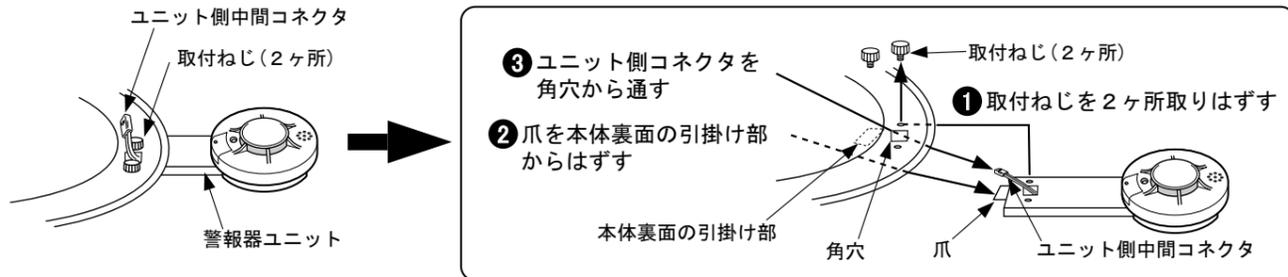


- 禁止** ●コネクタや電線をむりやり引っばらない。
*電線が断線し、感電、故障の原因となります。

- ①爪を押し
- ②はずす

- ②取付ねじ(2個)をはずした後、ユニット側中間コネクタを器具本体の角穴から通しながら本体裏面の引掛け部から警報器ユニットの爪をはずして、警報器ユニットを取りはずしてください。

- 必ず守る** ●取付ねじ(2個)をはずし、確実にコネクタおよび本体裏面の引掛け部の爪をはずした後、警報器ユニットをはずしてください。
*むりにはずすとコネクタの電線が断線し、感電・故障の原因になります。
*むりにはずすと本体裏面の引掛け部に掛かっている爪が変形し器具破損の原因となります。



※警報器本体の取りはずしかたは4ページを参照してください。

仕様

■器具の仕様

器具	85W形
定格電圧	交流100V
周波数	50Hz-60Hz共用
消費電力	78W
適合ランプ	FHD85
LED(黄)常夜灯 点灯時消費電力	0.9W

※この器具はリモコン機能付器具のため、ランプ消灯時でも約0.5Wの電力を消費しています。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切り、節電に心がけてください。

■警報器の仕様

種別	光電式住宅用防災警報器
感知方式	煙感知式(光電式2種)
定格	DC3V 50mA
電源	専用リチウム電池
電池寿命の目安	約10年
本体交換の目安	約10年(※)
試験機能	自動試験機能
移報接点	無電圧 1a接点 (DC 50V, 100mA)
音量	1mにて70dB以上

※交換の目安は10年ですが、使用環境(温度・ほこり・喫煙など)により短くなる場合があります。